

1 事業概要

事務事業名		飯田市障害者生活ケアセンター管理運営事業		課名	福祉課	事業No.	80
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始	R1	終了	R5
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			飯田市公共施設マネジメント基本方針			
法令・例規等			飯田市障害者生活ケアセンター条例				
事業目的		対象	障害者生活ケアセンター利用者				
		意図	障害者総合支援法による生活介護の提供と介護者の負担の軽減				

2 事業内容

1年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)	
	・飯田市障害者生活ケアセンターの管理運営を、社会福祉法人悠水会に指定管理者制度による指定管理を行っています。 ・平成31年4月より効果的な運営のため、介護保険サービスと一体型の共生型サービスに変更し、障がい者と高齢者が一緒に過ごす施設となりました。 ・重度の障がいを持たれた方の日中活動の場を確保し、また日常生活に欠かすことのできない入浴や食事、排せつ等の介護を提供する貴重な地域資源として引き続き安心して利用ができるよう、指定管理者と協議を重ねていく必要があります。								
				その他の経費				0	
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
延べ利用者数		人		2,896	2,900	2,944	2,910	2,455	
1年度決算(千円)	予算額	5,155	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	0	1→2 繰越明許費 4,667千円 (送迎車両更新費用)						
	財源の状況	国庫支出金	0						
		県支出金	0						
		地方債	0						
		その他	0						
	一般財源	0							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	3	10	2	5,155	0	障害者生活ケアセンター整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・重度の障がいを持たれた方の日中活動の場を確保しつつ効果的な運営体制を図るべく、指定管理者と協議を重ねた結果、共生型生活介護サービスへと移行しました。 ・引き続き、重度の障がいを持たれた方が安定して利用ができるよう、指定管理者と協議していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・重度の障がいを持たれた方の日中活動の場の確保がされるよう指定管理者と協議していく必要があります。 ・障がい者の安定した利用が可能となるよう働きかけるとともに、老朽化した設備や備品の更新を行う予定です。							
次年度に向けての取り組み		・重度の障がいを持たれた方の日中活動と日常生活に必要な介護を受けられる場の確保を図るため指定管理者と協議します。 ・重度の障がいを持たれた方等の安全な利用と支援者の負担軽減が図られるよう、送迎車両等の備品の更新を実施します。							